

学校教育目標	『手をとりあい ぐんぐんのびる しんめの子』 ○問題意識をもち、解決に向けて粘り強く取り組む子を育てます。(知) ○善悪を判断する力と、思いやりの心をもって行動する子を育てます。(徳) ○規則正しい生活をし、健やかな体づくりに自ら取り組む子を育てます。(体) ○洋光台のひと・もの・まちを大切に、共に生きる子を育てます。(公) ○様々な人との関わりを通じて、社会への視野を広げる子を育てます。(開)				
	創立 49 周年	学校長 山口 高弘	副校長 藤田 敏明	3 学期制	一般学級: 11 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 269 人 主な関係校: 洋光台第二中学校 洋光台第二小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	洋光台第二中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力	洋光台第二中学校 洋光台第二小学校 洋光台第四小学校	認め合い、学びあい、心身共に健やかに生きる子ども ○地域と関わり合いながら、洋光台のまちを大切にできる態度 ○他人の気持ちを考えて行動する力を育み、自尊感情を高めていく力 ○小中一貫教育カリキュラムの授業を通じ、楽しく学習に取り組む力 ・道徳教育や人権教育を通じた自尊感情や自己有用感を高める教育の実践。 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指した指導法改善や授業研究の取組。 ・9年間の成長を見通した児童生徒指導や特別支援教育の情報交換の実行。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切に児童理解と問題解決の学習を基盤に据えた学びの充実を図ります。 ・基本的生活習慣を身に付け、規則正しい生活ができる子の育成を図ります。 ・日々の学級活動や学習を通して、自己有用感や所属感、自己達成感の育成を図ります。 ・縦割り活動やグループ活動を通して、自他を尊重する子の育成を図ります。 ・自ら学習課題を掴み、生活経験や既習事項を生かした問題解決的学習の推進を図ります。 ・地域の中で生活している自分を知り、積極的に地域に関わろうとする子の育成を図ります。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業づくり	①子ども自らが学習課題を掴み、課題に対して夢中に取り組める子を育成する授業について考える。 ②子ども一人ひとりを見取り、その見取りや子どもの経験、既習事項を生かした主体的で深い学びが進められるように、重点研究を通して授業力向上を図る。
徳 人権・道徳教育	①豊かな心の育成を目指し、道徳教育や人権教育を柱とした教育活動を年間通して行い、自分自身で善悪を判断し、思いやりの心をもって行動する子の育成を推進する。 ②子どもの社会的スキル横浜プログラムを取り入れ、自分づくりや仲間づくり、集団づくりを行っていく。また、Y-Pアセスメントを積極的に活用し、児童の人権感覚や人権意識の向上を図る。
体 健やかな体づくり	①「早寝・早起き・朝ごはん」を意識した規則正しい生活をする姿勢を培うと共に、保護者・家庭と連携して、食育や体力向上を推進していく。 ②保健授業や体育、委員会活動や集会活動等を通して、体を動かす楽しさや意味を理解し自ら取り組めるようにする。
公開 キャリア教育	①地域で体験的に学ぶ機会を計画し、地域の中で生活する自分を知ると共に積極的に地域に関わる子の育成を図る。 ②縦割り活動や様々な人々と関わることを通して、自分の未来や育てたい力について気付きや思いをもち、実現に向けて取り組める力の育成を図る。
いじめへの対応	①学年研・ブロック研を活用し、一人ひとりをしっかり見取り、個を大切に学級経営・学年経営を積み重ねる。 ②いじめ防止対策委員会や児童理解研修等を通して情報共有し、未然防止や初期対応、再発防止の視点をもって対応や指導を考え、実践する。
人材育成・組織運営(働き方)	①教職員個々が自己の研修計画を立てて取り組むと共に、研修担当やミドルリーダーの教諭が支援体制を組み、人材育成に取り組む。 ②キャリアステージに応じた課題を設定する中で、誰もが自分の力を生き生きと発揮しながら校務に取り組めるように、学校全体の運営を広い視野で見直す。
地域連携・学校運営協議会	①学校運営協議会の助言や評価を受けて、教育活動や学校運営の改善を図る。 ②学校地域コーディネーターと連携して児童や教職員がまちと関わる学習活動等の充実を図る。 ③地域と共に生きる学校となるように、各種地域行事等に参加し一層の連携を図る。
異学年交流	①縦割り活動(しんめ班活動)を定期的に計画し、各学年のねらいを明確にして取り組むと共に育てたい児童の姿を明確にした年間計画作成に向けて見直しを図る。 ②全教職員で高学年のリーダー性を育てていくようカリキュラムを整えていく。
特別支援教育	①ユニバーサルデザインの考えに基づいた学習環境の整備、誰もが安心して過ごせるためのスタンダードの共有を確実に行う。②ブロックリーダーや特別支援コーディネーターを交えながら配慮を要する児童にチームで対応する。③必要に応じた支援ができるように、関係機関につなげ、連携を図る。
教職員の研究研修	①研修システムLeafを積極的に利用し、個々の教職員が授業力、指導力の向上に努める。 ②重点研究会や区、市の研究会で学んだことを積極的に自分の実践に取り入れ、学年やブロック、メンター研等で学び合う。